



えんどう ひろし 遠藤 浩 議員

コロナ対策

検査キット常備すべき

町長／500個購入し配備

遠藤

①家庭内での感染クラスターが多く発生している状況です。家庭内感染および感染拡大防止のため、信憑性の高いコロナ検査キットを各世帯に配備すべきではありませんか。

町長

①抗原検査キット500個を購入し、感染拡大防止を目的として、こども園、小中学校の園児、児童生徒を対象に抗原検査キットを各100個ずつ配備しました。

②抗原検査キット100個を避難所として環境防災課に配備しました。

I-GCC

ゼロカーボンとの整合性は

町長／I-GCC存続させ実質ゼロ

畑中

I-GCCを動かしている以上、二酸化炭素が排出されますが、I-GCCをやめるという目標がなければ、2050年度までに二酸化炭素排出を実質ゼロにする「広野町ゼロカーボン宣言」は意味がないのではありませんか。

町長

火力発電所の燃料転換、排出される二酸化炭素の再利用・地層処分などを念頭に検討していきます。

広野火力発電所やI-GCC発電所を存続させると共に、町内における二酸化炭素排出量の実質ゼロを実現させるべく取り組んでいきます。

通学路

今年度の取り組みは

教育長／各関係機関で点検中

遠藤

広野町では、「広野町通学路交通安全プログラム」を策定し通学路の安全確保に取り組みますが、今年度の取り組み状況とこれまでの対策実績を伺います。

教育長

今年度は、保護者から学校に寄せられた危険箇所の情報をもとに、それぞれの関係機関において点検を実施いただき、9月30日までにその点検結果及び対策の内容について報告をいただくこととなりました。

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら、報告された内容について推進会議等を開催したいと考えています。

年に一回の合同点検を実施し、必要な対策内容をその年度中もしくは次年度中に関係機関で行っています。横断歩道や信号機の設置など、道路の構造上、対応に時間を要する箇所は、路面カラー舗装や啓発看板の設置などで対応してきま



集団登校(役場前)

交通安全教育のようなソフト面における対策にも取り組んでいます。平成29年度から令和2年度まで36カ所の対策を実施し、結果は町ホームページにて公表しています。

バナナ栽培

農家に広げられないか

町長／採算性から厳しい状況

畑中

①(株)広野町振興公社で栽培しているバナナは、県内ではかなり有名になったと思いますが、栽培方法は確立されたと言えますか。

②町外からもバナナを買いに来ると聞いたのですが、バナナは提供できる量があるのですか。

③温室を設置するときに補助金が出るの聞きましたが、その目的は何ですか。

町長

①一定の生産体制が確立できていると認識していますが、冬場の暖房費を軽減し利益率を高める実証をしている状況です。

②収穫本数は年間約1万本で、夏場は購入しやすい状況になっていますが、冬場から春先は収穫量が落ちて品薄となります。

③農林水産省が「原子力被災12市町村農業者支援事業実施要綱」を制定しました。

栽培するものに制限はありませんか。

畑中

①こども園、小中学校の感染対策はどのようなことをしていますか。

②ワクチン接種の年齢は何歳からですか。

③町内で感染が確認されているのは、原発や火力発電所等に係る方が多いように思いますが、東京電力や協力会社などの職域接種は進んでいますか。

町長

①こども園では、基本的な対策の他、園児特有の事情を考慮して職員一人ひとりが感染対策を行っています。小中学校では、給食時は座席を向かい合わないよう配置する対策などを取っています。

②12歳以上の方が対象です。子どもたちの感染防止対策は、家庭にウイルスを持ち込まないことが重要です。

③東京電力等の職域接種は、10月中旬に終了します。感染拡大地域を往来する場合、検査をして町内に戻すよう要請しています。

④令和3年9月10日現在、1回目77%、2回目63%です。



はたなか ひろこ 畑中 大子 議員